

〈 施工説明書 〉 TVF-NE IVF-NE

機能引戸 3枚連動引き戸専用枠材

株式会社 **ウッドワン** 〒738-0023 広島県廿日市市下平良1-12-1

商品相談窓口



0120-813-331

[受付時間] 平日8:30~17:00 [休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願いいたします。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実に守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。

・ビスはビス穴に取り付ける。

ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、ドアの脱落の原因となり危険です。

・上レールの固定はインパクトドライバーを使用しない。

上レールの固定に際し、インパクトドライバーを使用すると基材に割れが発生したり、ビスが空回りしてレールや引き戸が落下する原因となります。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行う。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・躯体に欠点がないことを確認する。

躯体接合金具を取り付ける際、躯体のビスのあたる部分に節や割れなどの欠点がある場合、金具が固定されず枠材がはずれる原因となり危険ですので、強固に固定できるように下穴や下地材を入れてください。

・同梱の金具を使用する。

本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。

お願い

- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

施工終了後

◆ 養生

当て傷・擦り傷等がつかないよう保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

◆ お手入れのしかた

製品の表面が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

1. 開梱

梱包内訳表

※ 梱包を開いたら杵材本体及び下表の付属品に不足及び問題がないかご確認ください。

杵本体セット

部材名	縦杵		鴨居		鴨居レール	戸じゃくりキャップ	ストッパー	引き残し用ストッパー
	調整杵	固定杵	調整杵	固定杵				
入数	2本		1本		1本	2個	2セット	2個
備考 (部材品番等)								

ビスセット (杵本体セットに梱包)

袋の色	赤	赤	赤	黄	黄	黄	透明
部材名	木ダボ	組み立てビス	下杵固定ビス	躯体接合金具ビス	六角レンチ	躯体接合穴キャップ	クッションキャップ
セット品番	6mm 35mm	62mm φ3.8mm	25mm φ3.5mm	47mm φ3.8mm	7mm L50mm	φ10	φ16
入数	ZYMS01-□ 2本	4本	11本	11本	1本	8個	8個
備考 (部材品番等)	-	-	-	杵と躯体の固定に使用できます。	固定杵では使用しません。	固定杵では使用しません。	-

※  部分は床直付けレールタイプには付属しません。

敷居埋め込み 別梱包 (敷居セット)

部材名	敷居		敷居レール
	間口	セット品番	
入数	W=1,450	DCQ4V3N-7-□ 1本	3本
	W=1,644	DCQ4V4N-7-□ 1本	3本
備考			

床直付けレール 別梱包 (敷居セット)

部材名	敷居(アルミ)	レール用ビス	直付けレール用戸じゃくりスペーサー	
	間口	セット品番		
入数	W=1,450	DCRFV3N-S7 1本	7本	2個
	W=1,644	DCRFV4N-S7 1本	8本	2個
備考				

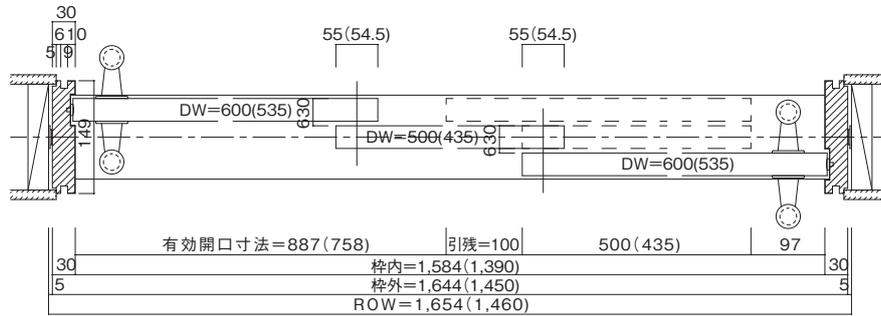
2.納まり図

調整枠には躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
 固定枠には躯体接合金具が付いていないので、枠外寸法に合った開口を設けてください。

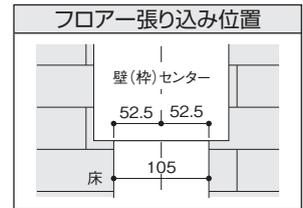
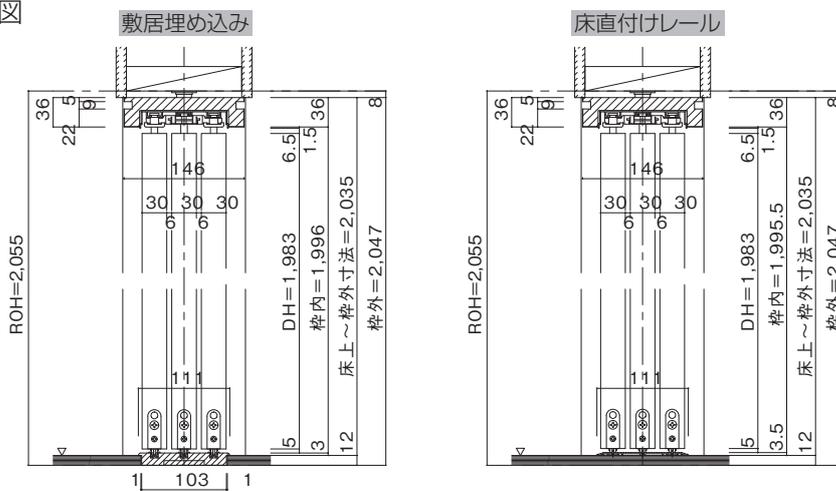
調整枠

(単位:mm)

■横断面図



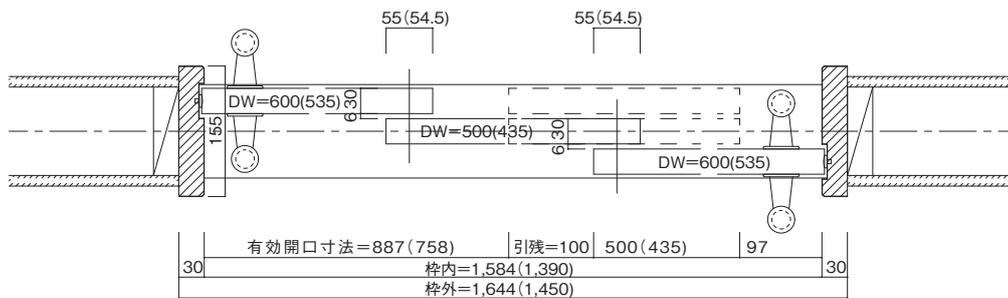
■縦断面図



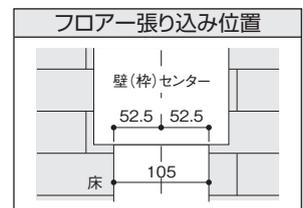
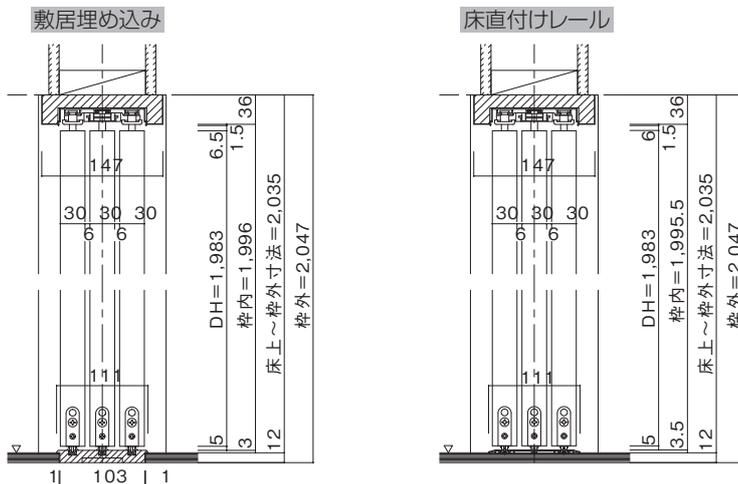
固定枠

(単位:mm)

■横断面図



■縦断面図



3. 施工手順

施工手順のイラストは調整枠の場合です。固定枠も手順は同様となります。

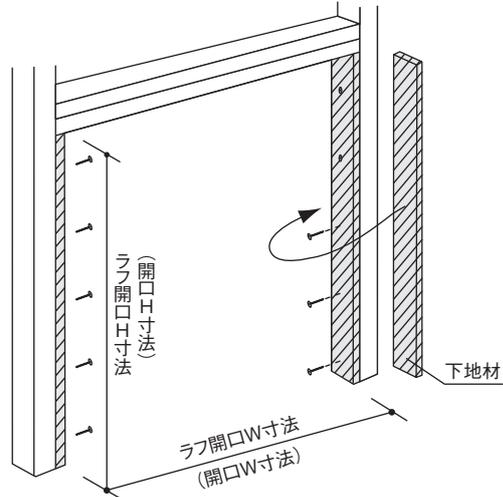
① 取り付け開口部の確認

調整枠の場合

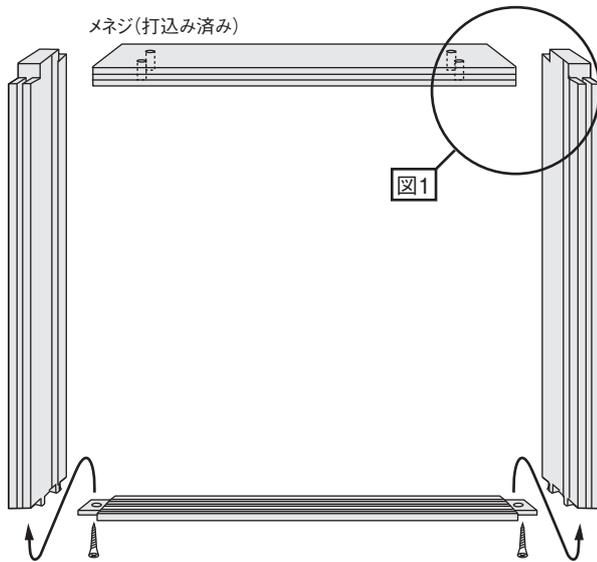
開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合ったラフ開口を設けてください。

固定枠の場合

固定枠には躯体接合金具は付いていません。納まり図を参照のうえ、枠外寸法に合った開口を設けてください。



② 枠材の組み立て



注意! 敷居はバリアフリー(埋め込み施工)となります。

敷居埋め込みの場合

縦枠とフローアの納まり

- 15mmフローアご使用の際は、3mmのベニヤ板などを下地にし、高さ調整したうえで施工してください。

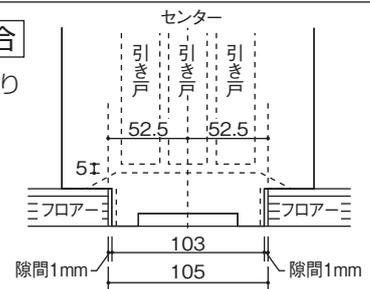
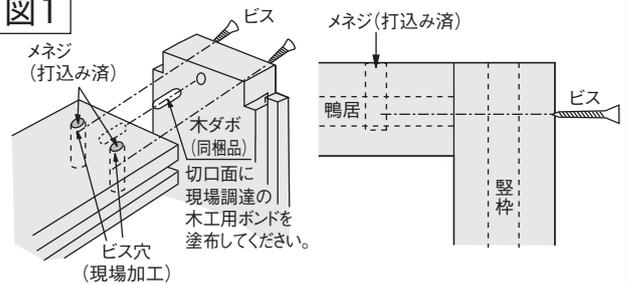


図1

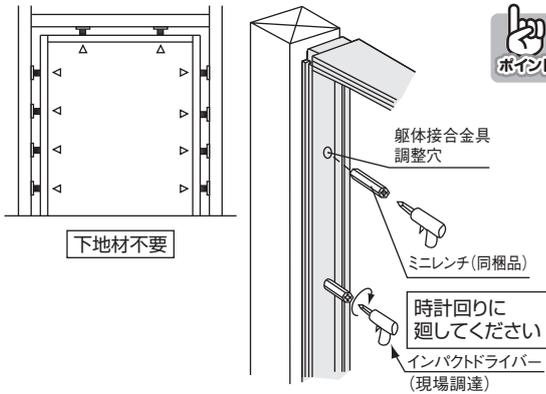


③ 枠材の固定と建て付け調整

調整枠の場合

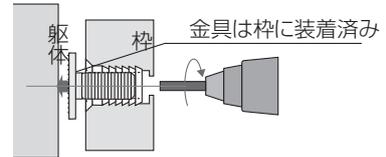
枠材の仮固定

同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具調整穴より躯体接合金具を調整し、枠材を仮固定してください。



ポイント
金具で突っ張らせて
枠を仮固定する

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。



同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。

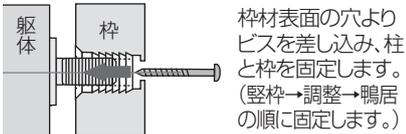
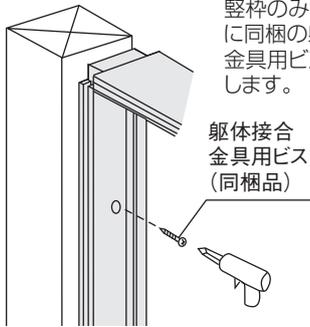
⚠ 注意

インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。

縦枠の本固定

縦枠のみ8カ所に先に同梱の躯体接合金具用ビスで固定します。

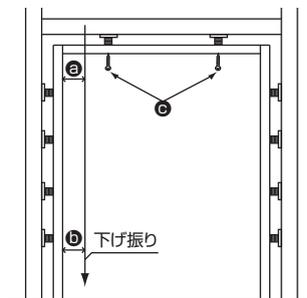
躯体接合金具用ビス(同梱品)



枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)

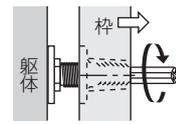
建て付け調整ならびに鴨居の本固定

- 水準器などを使用し、**a** = **b** となるよう調整してください。併せて前後の建りも調整してください。
- c** は建りを調整後、最後に固定してください。



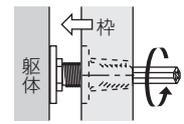
枠を内側に寄せる場合

時計回り(右回り)で調整



枠を外側に出す場合

反時計回り(左回り)で調整



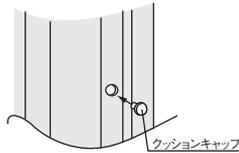
※下記の様なことがないようにご注意ください。



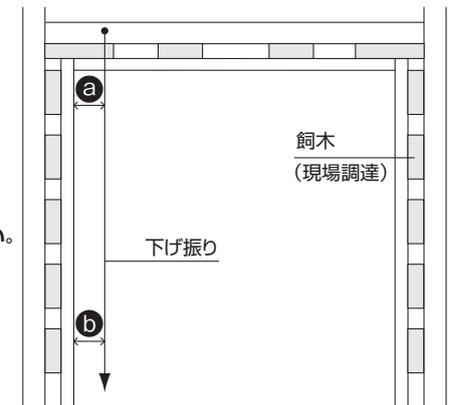
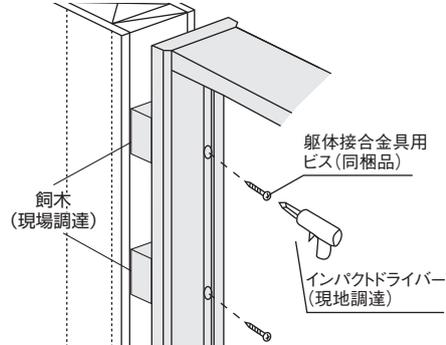
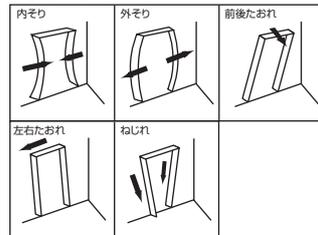
固定枠の場合

開口部に枠材をはめ込み、飼木(現場調達)で水平と垂直、ネジレを調整し、枠材を固定します。枠材の固定は同梱の躯体接合金具用ビスを縦枠のビス穴から打ち込んで固定させてください。鴨居の固定は任意の位置にビスを打ち込んで確実に固定してください。

縦枠を取り付け後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。



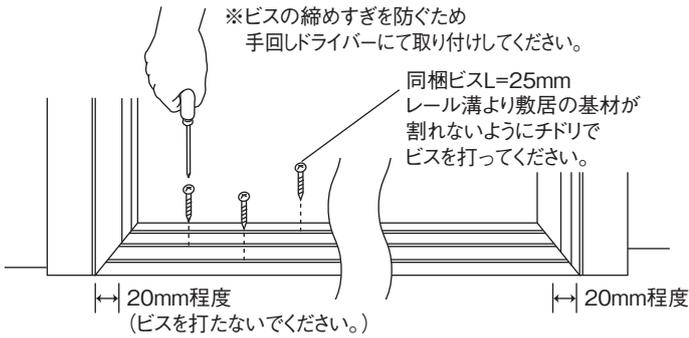
※下記の様なことがないようにご注意ください。



水準器などを使用し、**a** = **b** となるよう調整してください。併せて前後の建りも調整してください。

④ 敷居の取り付け

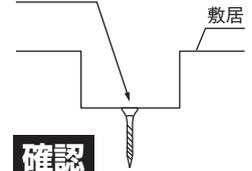
敷居埋め込みの場合



⚠ 注意

敷居溝の外側2本はレール取り付けの際、ストッパーをビス固定します。敷居のビス固定は20mm程度枠から離してビスを打ってください。

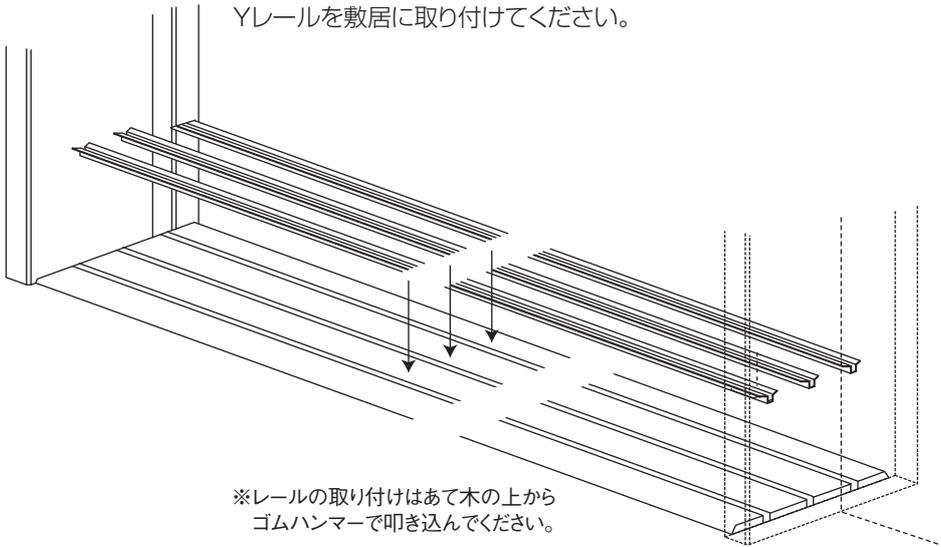
ビス頭が
残らないように
締め込む



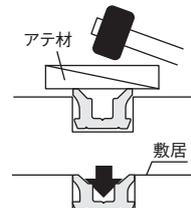
確認

敷居を固定するビスは、
ビス頭が残らないように
確実に締め込んでください。

Yレールを敷居に取り付けてください。



Yレール取り付け時の注意

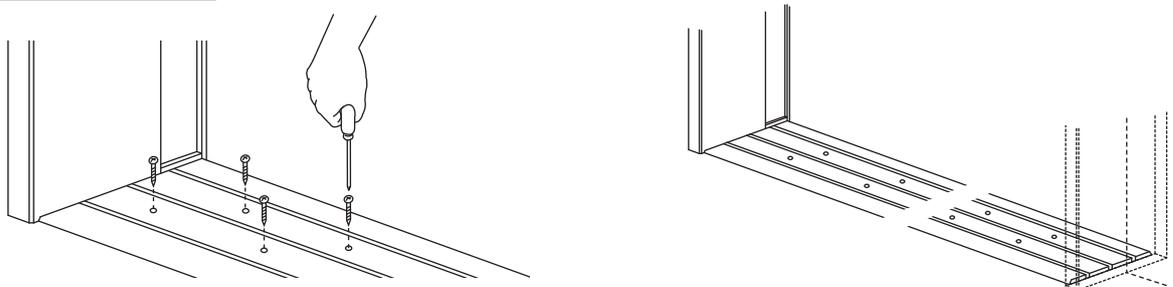


※レールが完全に敷居に入っている
ことを確認してください。

⚠ 注意

レールが完全に埋め込まれて
いないと引戸の開閉に支障を
きたすおそれがあります。

床直付けレールの場合

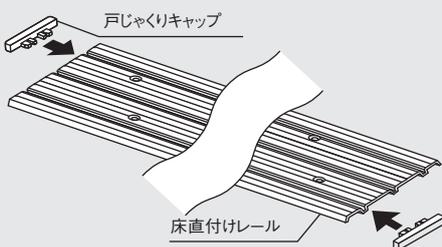


位置決め後、同梱のレール用ビスで床直付けレールの下穴からレールを固定します。ビス固定の際、ビスが垂直に固定されていなかったり、床直付けレールから浮いた状態だと、引戸の動作不良の原因となりますのでご注意ください。

床直付けレールの場合

① 戸じゃくりキャップの取り付け

戸じゃくり部分に接する床直付けレールの
端部へ、戸じゃくりキャップを取り付けます。

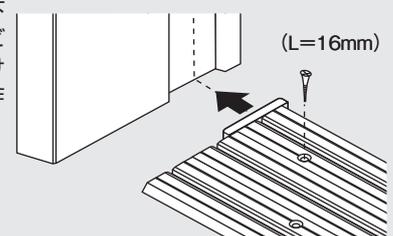


② 床直付けレール取り付け位置の確認

縦枠の戸じゃくりセンターが床直付けレールの
センターになるように位置決めをします。

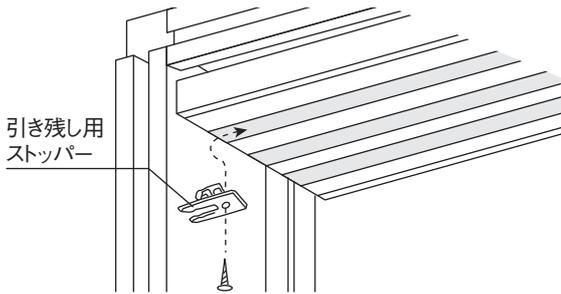
同梱のレール固定ビスで床直付けレールの下
穴からレールを固定します。ビス固定の際、ビ
スが垂直に固定されていなかったり、床直付け
レールが床から浮いた状態だと、引戸の動作
不良の原因となりますので注意してください。

※床直付けレールの場合、同梱の下枠固定ビスは
使用しません。



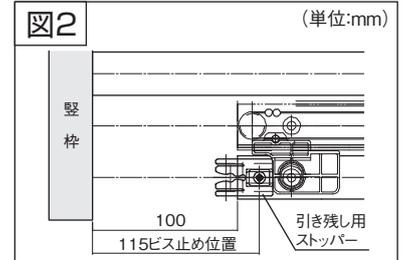
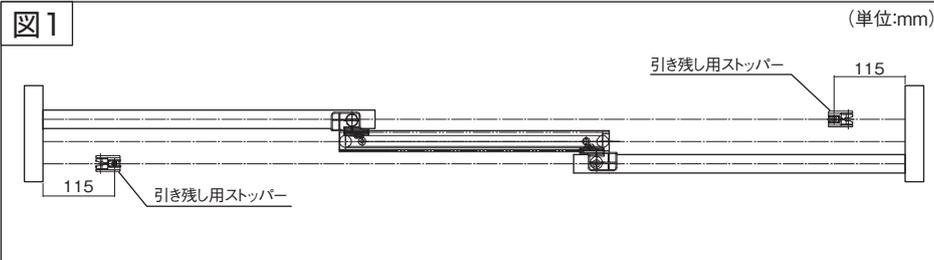
※レールのキズ防止のため、施工様入居までは養生等を施し、砂・ホコリ等が付着しないようにしてください。

⑤ 引き残し用ストッパーの取り付け



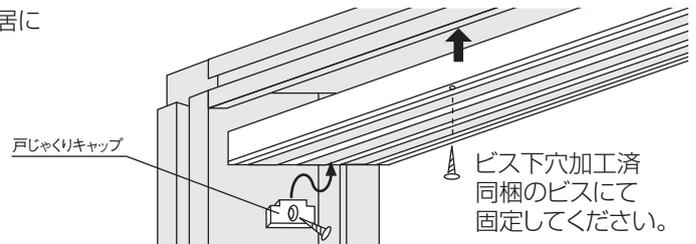
※引き残し用ストッパーは上レールの取り付け前にレールに差し込んでおいて下さい。(※図1参照)
また(※図1)を参照し、引き残し用ストッパーを指定の位置に同梱の取り付け用ビスで、固定してください。

※引き残し用ストッパーは逆向きに取り付けてください。(※図2参照)



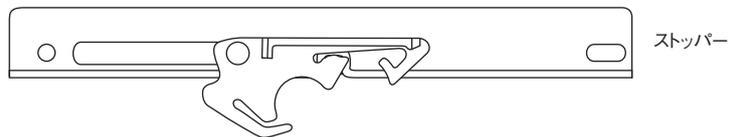
⑥ 上レールの取り付け

戸じゃくりキャップを同梱のビスで取り付けした後、上レールを鴨居に取り付けます。

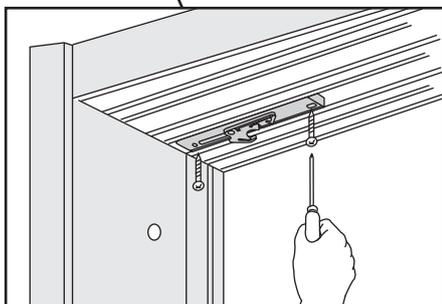
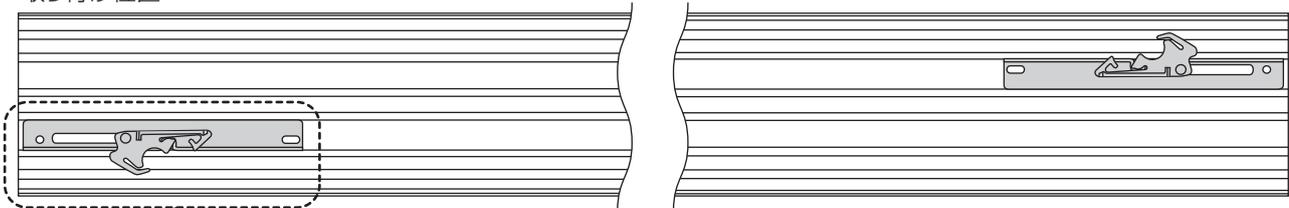


⑦ ストッパーの取り付け

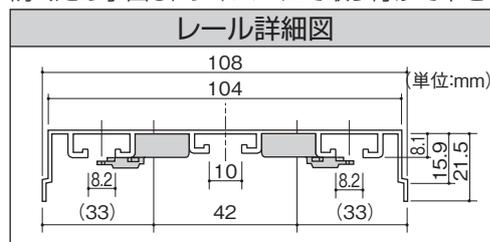
上レールにストッパーを取り付けます。



取り付け位置

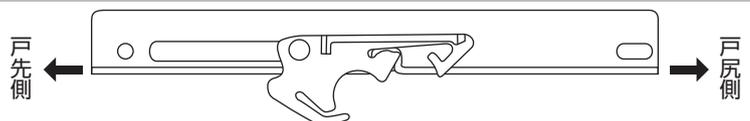


同梱のビスにて取り付けビスの締めすぎを防ぐため手回しドライバーにて取り付けして下さい。



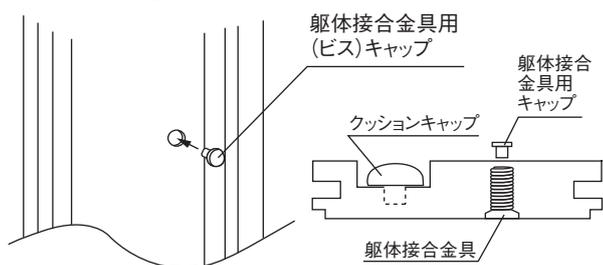
⚠ 注意

ストッパーの向きを必ずご確認ください正しい取り付けして下さい。
向きが正しく取り付けが行われない場合引戸の動作不良の原因となります。



⑧ キャップの取り付け

縦枠にクッションキャップと躯体接合金具用ビスキャップを取り付けてください。



- ※躯体接合金具用キャップは調整枠の場合のみ取り付けます。
- ※キャップは確実に取り付けてください。
確実に取り付けしていないと外れてしまうおそれがあります。

調整枠の場合

ケーシングの取り付け

